

学校評価のねらい

- ① すべての教職員が、学校評価は教育課程を通じて学校教育目標の実現を図るというカリキュラム・マネジメントの重要な要素であるという認識をもつ。
- ② 各種調査や保護者アンケート等の指標を活用し、客観的に自己評価を行い、よりよい学校、学級づくりに生かす。
- ③ 学校評価を公表することで、学校・家庭・地域が子どもの教育課題を共通理解し、協力・連携を深めながら、地域ぐるみで子どもの教育に取り組み、学校支援の輪を広げる。

		評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中間評価	4	教育指導計画書の作成		学校だより（教育方針の発信） 前年度の評価結果をHPに再掲 評価年間計画をHPに公表
	5	学校評価の実施に向けた企画 評価項目の検討		
	6		第1回学校運営協議会開催 学校教育方針の説明	
	7	保護者アンケート 児童アンケート （取組の振り返り・児童生徒の様子各種 調査結果等		
	8	自己評価の実施		
	9	評価結果の分析 2学期の方針の検討	第2回学校運営協議会開催 学校運営協議会による評価の 実施（学校関係者評価）	
	10			学校だより・HPに結果・改善 策を公表
	11			
	12	保護者アンケート 児童アンケート （取組の振り返り・児童生徒の様子各種 調査結果等）		
	1	自己評価の実施 評価結果の分析 改善策の検討	第3回開催 学校運営協議会による評価の 実施（学校関係者評価）	
年間評価	2			学校だより、HPで結果・改善 策を公表
	3	次年度の方針の共通理解		